

一般社団法人 日本医療福祉建築協会 〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館
TEL:03-3453-9904 <https://www.jiha.jp>

日本医科大学武蔵小杉病院 見学会 開催案内

8月の月例行事は、標記施設を見学させていただきます。参加ご希望の方は、下記の申し込み方法の通りお申し込み下さい。

記

日本医科大学武蔵小杉病院 <https://www.nms.ac.jp/kosugi-h/>

- 日 時 2024年8月22日(木) 13:00-15:30
- 所在地 神奈川県川崎市中原区小杉町 1-383
- 設 計 日建設計
- データ 372床/地上9階/鉄筋コンクリート一部鉄骨造/延 32,275 m²/2021年7月竣工
- 特 徴 新病院は旧病院の狭隘老朽化に伴い武蔵小杉キャンパス再開発事業の一環として整備された。ユニバーサル・機能集約・実用本位を念頭にシンプルでスマートな病院を目指し、作り込まず標準化されたユニバーサル外来・手術・ICUをはじめ、ITの活用により外来ブロック受付を無くすなど、発注者の先見力と発想力により矩形建物に特徴的な要素を採り入れた都市型の急性期病院を実現した。
- 交 通 東急線・JR線「武蔵小杉駅」または東急線「新丸子駅」より徒歩4分
- 定 員 20名 (JIHa 会員に限る)
- 参加費 5,500円 (税込)

写真撮影：①見学会開始前の撮影 ②施設利用者の撮影 ③フラッシュの使用 は禁止となります

(公社) 日本医業経営コンサルタント協会「医業経営コンサルタント」継続研修：2.5時間 (予定)
建築CPD (継続能力/職能開発) 情報提供制度認定プログラム (予定)

※ 受付・申込方法

- 1) 受付方法：原則としてE-mailに限ります。
 - 2) 受付期間：7月10日(水) 10:00～7月12日(金) 15:00 (3日間)
先着順ではございませんので、上記受付期間中にお申し込みください。なお、お申し込み数が定員を超えた場合は抽選とさせていただきますのでご了承ください。
 - 3) 記入事項：件名「日本医科大学武蔵小杉病院 見学会参加申込み」
①参加者名 (法人会員は複数並記可)、②勤務先・部署、③電話番号、④E-mail アドレスを記載のこと。
 - 4) 申込人数：機会均等のため、応募者多数の場合は抽選の上、法人会員は1社1名様以内とさせていただきます。個人会員は本人のみとし、代理出席はできません。
 - 5) 受付の確認：お申し込みいただいたものについて、抽選のない場合は受付期間後の翌日、抽選を行った場合は受付期間後2日以内(土日祝日除く)に結果をメールで返信致します。返信のない場合はE-mail等にてお問い合わせください。
 - 6) 受付終了後のご案内：5)のご案内の際、ご参加いただける方にはイベントペイの申し込み用URLをお知らせしますので、そちらよりお申込み及びお支払いをお願いいたします。
- ※イベントペイ利用によるシステム手数料が別途220円(税込)かかります。
イベントペイに関する詳細は3頁目をご覧ください。
- 7) 受付期間終了後、抽選となった場合は、申込数と併せてホームページにてその旨ご報告します。なお、受付期間内に定員に達しなかった場合は、引き続き受付します。

日本医療福祉建築協会事務局 E-mail : [office\(at\)jiha.jp](mailto:office@jiha.jp) (at)は@に置き換えてください。

医療福祉建築フォーラム 2024 開催案内

本協会では毎年、医療福祉建築に関する研究・計画・設計者と他分野の方々が、ともに学び、考える場として、医療福祉建築フォーラムを開催しています。なお、今回は5年ぶり、対面での開催となります。

本年度は、ICTの導入に取り組む高齢者施設の事例や、障害(児)者の暮らしやすい地域づくり、能登半島地震の経験を通じた災害時の病院の役割、病院の情報化やインターネット技術の活用、院内のサイン計画、リハビリテーションを取り巻く病棟環境など、これからの医療福祉施設が抱える問題に対して、解決のヒントとなる企画を揃えました。

プログラムの詳細とお申込みのご案内は後日臨時号にてご案内いたします。

記

- 会 期 2024年9月19日(木)・20日(金)
会 場 女性就業支援センターホール (東京都港区芝 5-35-3 ハローワーク品川 4階)
主 催 一般社団法人 日本医療福祉建築協会

現在企画中のテーマ

フェニックス杉並の取り組み (高齢者)
石神井いとなみの起点プロジェクト (障害者)
能登半島地震の経験を通じた災害時の病院の役割
医療施設と設計者の新病院建設の対談
医療情報と施設情報の連携による経営改善の試み
サイン情報と医療情報のハイブリッドデザイン
パンデミックに対応するための医療施設計画 (研究報告)
リハビリ病棟に関するシンポジウム

※本講座に関するお問い合わせは、メールにて事務局宛にお願いいたします。

日本医療福祉建築協会事務局 E-MAIL: office(at)jiha.jp ※(at)は@に置き換えてください。

Web 決済システム「イベントペイ」について

月例事業、及び講座、フォーラムの参加申込みや参加費の支払いを Web 上で受付、管理できる決済システム「イベントペイ」を導入しております。

なお、「イベントペイ」を利用しない事業を行う場合には、開催案内にその旨を記載いたします。

「イベントペイ」による参加申込み等については下記をご確認ください。

1. 受講費支払方法について

①クレジットカード決済 ②コンビニ決済 ③ペイジー決済（簡単銀行決済）よりご選択いただけます。②、③のお支払期限は申込日＋7日間となります。

2. 請求書発行について

「イベントペイ」により受付をする事業については、原則として請求書の発行はいたしません。勤務先等へのお手続きには領収書をご利用ください。ご理解の上、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

3. 支払期限について

受講費支払期限は原則として「事業開催前」となります。支払期限までに入金がない場合、自動的にキャンセルとなりますのでご注意ください。開催日直前にお申込みの場合、お支払い期限までの日数が少なくなりますので、余裕を持ってお申し込みください。

※資料の送付はお支払い確認後となります。

4. システム利用料について

事業の参加費とは別に、システム利用料 220 円（税込）を参加者にご負担いただきます。

5. 領収書発行について

領収書は決済完了メールに記載の URL より、参加者ご自身で取得いただけます。

一般社団法人 日本医療福祉建築協会 事務局

勉強会「モバイル・ホスピタル2」 開催案内（再掲）

理事・運営委員による月例【勉強会】、7月は対面にて「モバイル・ホスピタル2」を開催します。昨年9月に開催しました同勉強会「モバイル・ホスピタル」の第2弾となります。

人口減少社会において医療の質を保つには、医療資源の再編と集中を行うしかありませんが、このままでは医療の地域格差は広がるばかりです。コロナ禍をきっかけにこれまで規制が厳しかった遠隔診療が解禁されるなど、ITによる解決は少しずつ進んでいますが、最終的には医師と看護師の対面による「手当て」は必要でしょう。振り返ると、以前は医師が道具を持って患者のもとに出向く往診は一般的なものであり、建築の代わりに車や船といった様々な乗り物を用いたモバイル・ホスピタルも100年以上前から存在しています。今回は世界のモバイル・ホスピタルの事例を見ながら、これからの日本にも応用可能かを考えます。

前回参加されていない方も参加いただける内容となっておりますので、是非ご参加ください。会の終了後に、会場近くにて懇親会を行う予定です。

参加ご希望の方は、下記の申し込み方法の通りお申し込みください。

記

- 日 時 2024年7月17日（水）16:00-18:00 ※WEB配信はありません。
- 会 場 東洋大学赤羽台キャンパス WELLB3階第7会議室（東京都北区赤羽台1-7-11）
<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/about/campus/akabanedai/access.html>
- 講 師 岡本 和彦 氏（東洋大学 理工学部 建築学科 教授）
- 受付締切 2024年7月12日（金）17:00迄
- 定 員 40名（先着順）
- 参加資格 どなたでもご参加いただけます
- 参加費用 JIHa 会員・会友：3,300円（税込）／一般：4,400円（税込）※懇親会費別
※イベントペイ利用によるシステム手数料が別途220円（税込）／人かかります。
- 申込URL
https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=0610834174919284&EventCode=2883646598

（公社）日本医業経営コンサルタント協会「医業経営コンサルタント」継続研修：2.0時間（予定）
建築CPD（継続能力/職能開発）情報提供制度認定プログラム（予定）

⌘申込方法

- 1) 申込方法：上記の申込URLよりお申し込みください。（イベントペイについて：3頁参照）
- 2) 申込人数：参加人数の上限はありません。
1申込みで複数人での聴講は禁止とさせていただきます。1視聴につき必ず1人のお申込みをお願いします。なお、同一メールアドレスで複数人のお申込みはできません。
- 3) キャンセルについて
 - 期日までにお支払いされない際は自動キャンセルとなります。
 - 入金後のキャンセルはできません。
- 4) 参加通知書は、参加者のE-Mailアドレスにお送りします。

日本医療福祉建築協会事務局 E-mail : office(at)jiha.jp (at)は@に置き換えてください。

医療福祉建築賞 2024 募集要項【再掲】

主催 一般社団法人日本医療福祉建築協会
後援 厚生労働省(予定)

一般社団法人日本医療福祉建築協会では、1991年に厚生省(当時)の後援を得て「病院建築賞」を創設し、1995年より名称を「医療福祉建築賞」と改めて、医療福祉建築の顕彰事業を実施しております。

賞は、近年竣工した医療・福祉施設及び保健施設のうち、応募のあったものの中から選ぶことになります。下記の要項に沿って、ふるってご応募くださるようご案内致します。

1. 趣旨

医療福祉建築賞は優れた医療福祉建築を顕彰し、それを広く世に知らせることによって、これら施設の質の向上をはかることを目的として定めるものである。

優れた医療福祉建築とは、建築として質が高いことに加えて、利用者ならびに職員にとって快適で使い勝手がよいことを条件とする。すなわち中身と器が調和し、いずれにおいても優れていることを意味するものとする。

2. 顕彰

「医療福祉建築賞」若干点に対して、賞状・銘板が贈られる。また、企画、特定の部門計画、工事技術などが特に優れている応募案があった際には、選考委員会でその内容を検討し若干点に対して「医療福祉建築賞 準賞」として、賞状が贈られる。

3. 対象

顕彰の対象となる施設は、2020年(令和2年)4月1日から2023年(令和5年)3月31日までの3年間に日本国内において新築、増改築または改修を行なった医療・福祉・保健施設ならびにその関連施設とする。

上記条件に合致する限りにおいて、前回に応募し選外となった作品の応募もさしつかえない。

4. 応募資格

応募者は、当該施設の開設者または管理者、設計者のどちらでもよい。ただし、選考委員または委員の所属する組織が計画・設計・運営に関与している施設は応募できない(当該施設は委員の任期終了後に応募することができる)。

5. 選考のための提出資料

- (1) 所定の応募申込書ならびに建築概要書
- (2) 設計主旨
- (3) 図面 配置図・平面図・断面図など、大きさはA3判。
- (4) 写真 15葉程度とし、周辺環境がわかるものを含むこと。また、室内については家具・機器等が設置されていること。大きさは任意。

上記(1)~(4)をA3判クリアファイル1冊におさめて提出のこと。なお、それらを1つのファイルにまとめてPDF化しCD等に収めたデータを同時に提出のこと。保存時にデータサイズの縮小を心がけること。

ただし、本会誌『医療福祉建築』に作品全体が紹介されたものについては、(2)~(4)の一部について当該誌の提出をもってこれに替えることができる。この場合でも『医療福祉建築』に掲載分も含めてデータを提出のこと。

6. 応募期日

2023年8月18日から同年8月31日まで。当日消印有効。

7. 提出先

一般社団法人 日本医療福祉建築協会
住所 〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館
電話 03-3453-9904 FAX 03-3453-7573

8. 応募料

応募者は1作品につき66,000円(税込)を応募料として応募時に納入する。

9. 選考

選考は、以下の委員で構成される選考委員会によって「趣旨」に沿った判断にもとづいて行なう。なお、選考過程で必要に応じて現地調査を行なう。また、必要に応じて特別委員をおくことができる。

委員長 三浦 研(京都大学大学院 工学研究科 教授)
委員 浅野 晃司(学校法人慈恵大学 理事)
委員 勝山貴美子(横浜市立大学 医学部看護学科 教授)
委員 小菅 瑠香(芝浦工業大学 建築学部 教授)
委員 長島 一道(ハル建築研究所 代表取締役)
委員 平野 勝雅(大建 met 代表取締役)
委員 湯浅 篤哉(大林組 医療ソリューション部 部長)

10. 公表

選考の結果は2025年3月末日までに応募者に通知するとともに、別途本会誌に公表する。

11. 提出資料の取扱い

応募のために提出した資料は返却する。また、本協会がこの事業の趣旨に則して提出資料を会誌に掲載、さらに図書の出版、または展示などのために用いる場合、受賞者は無償でその使用を認めることとする。なお、その際写真撮影者の記載を必要とする場合は、あらかじめ応募の際に明記する。

応募書類はwebでダウンロードできます。 <https://www.jiha.jp>

※本賞に関するお問合せはメールにてお受けします。 E-mail:office(at)jiha.jp

(at)は@に置き換えてください。

病院建築基礎講座／福祉建築基礎講座 開催案内【再掲】

恒例の標記講座を、本年は Zoom を利用した 1 ヶ月間のオンデマンド配信にて開催いたします。「建築基礎講座」は、主として初学者を対象に、基礎的な知識を平易に解説することをコンセプトとして、病院、福祉施設・高齢者施設などの最新情報や今日的话题を体系的に盛り込んだ講義内容です。設計事務所等の新人研修をはじめ、これから医療福祉建築を手がけられる設計者や、新築・増改築をお考えの施設関係者などにも広くご利用頂けますので、ぜひお申込みください。

※ライブ配信ではなく、1 ヶ月間のオンデマンド配信となります。配信期間中でしたらいつでも何度でも視聴が可能です。

記

配信期間 病院／福祉ともに：2024年7月1日(月)～31日(水)

配信方法 オンデマンド配信

配信環境 Zoom ※スマートフォン、タブレットで視聴の場合、Zoom アプリのインストールが必要です。

受講費 病院建築(8コマ)：一般 45,100 円、JIHa 会員 23,100 円

(税込) 福祉建築(4コマ)：一般 22,000 円、JIHa 会員 11,000 円

※2019 年度課題研究報告書『医療施設の整備プロセスの諸課題に関する研究』(A4 判冊子 93 頁、4,400 円・税込) は別途<https://www.jiha.jp/issuing/researchreport/>よりお申し込み下さい。

申し込み 1) 下記 URL よりお申し込み下さい。(イベントペイについて：詳細 6 頁目)

病院：https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=0610834174919284&EventCode=8963294004

福祉：https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=0610834174919284&EventCode=3190405964

2) キャンセルについて

■ コンビニ・ペイジーでの支払いの場合、期日までに支払が確認されない際は自動キャンセルとなります。

■ クレジットカード払いを含め、入金後のキャンセルはできません。

3) イベントペイ利用によるシステム手数料が別途 220 円(税込) がかかります。

4) 視聴用 URL および資料は、受講者の E-Mail アドレスにお送りします。

申込締切 7月29日(月) 17時迄

□建築 GPD・医業経営コンサルタント協会継続研修について□

視聴ログに記録される氏名、メールアドレス、視聴時間を確認の上で登録対象となります。

※本講座に関するお問い合わせは、メールにて事務局 (office(at)jiha.jp) 宛にお願いいたします。※(at)は@に置き換えてください。

日本医療福祉建築協会事務局 E-MAIL: office(at)jiha.jp ※(at)は@に置き換えてください。

病院建築基礎講座 2024 プログラム

2024年7月1日(月)～2024年7月31日(水)にてオンデマンド配信

90分	全体計画※ 病院建築の構成と計画のポイントについて解説します。	笥 淳夫 (工学院大学 建築学部 教授)
60分	病院の施設基準 ～2024 関連報酬同時改定をふまえて 医療施策の動向や施設基準の留意点に加え、施設整備に適応できる主な補助金などについて解説します。	牧田 雄三 (独立行政法人国立病院機構本部財務部 施設整備主幹)
90分	病院のデザイン 将来の姿を見据えた病院建築のデザイン手法について解説します。	森 雄一 (昭和設計 建築設計部 部長)
60分	病院のファシリティマネジメント 施設を長期間活用するための留意点について改修のプロセスを例に解説します。	森 佐絵 (清水建設 ビジネスソリューション部)
60分	外来・救急の計画※ 今後の外来・救急でやるべきこと、やめるべきことは何かについて解説します。	岡本 和彦 (東洋大学 理工学部 教授)
90分	診療部の計画※ 診療活動の中心となる検査部・手術部などの役割と建築に求められる要件について解説します。	小菅 瑠香 (芝浦工業大学 建築学部 准教授)
90分	供給部の計画 物流支援ロボット、経営管理、物品管理の実務に即した建築・設備の考え方を解説します。	石橋 達勇 (北海学園大学 工学部 教授)
100分	病棟の計画※ 病棟計画の種類や看護マネジメントと合わせた計画等について解説します。	渡辺 玲奈 (竹中工務店 医療福祉・教育本部 専任副部長)

「全体計画」参考資料：2019年度課題研究報告書『医療施設の整備プロセスの諸課題に関する研究』（頒価 4,400 円）

(社) 日本医業経営コンサルタント協会「医業経営コンサルタント」継続研修：10.0時間(予定)

建築CPD（継続能力/職能開発）情報提供制度認定プログラム

※「全体計画」「外来・救急の計画」「診療部の計画」「病棟の計画」は2023年分の再配信となります。

*敬称略、タイトル・講師は変更されることがあります

福祉建築基礎講座 2024 プログラム

2024年7月1日(月)～2024年7月31日(水)にてオンデマンド配信

60分	高齢者施設の計画※ 高齢者施設の構成と計画・設計のポイントについて解説します。	山口 健太郎 (近畿大学 建築学部 教授)
60分	高齢者施設のデザイン 地域との共生を目指した福祉施設の事例を解説します。	山崎 健太郎 (山崎健太郎デザインワークショップ 代表取締役)
60分	福祉施設の動向 高齢者施設のコロナ対応、障害者施設の重度化対応など、実例を用いて解説します。	岩崎 直子 (ゆう建築設計 取締役社長)
100分	障害者施設の計画※ 障害者の居住環境や生活環境の計画・設計のポイントについて解説します。	松田 雄二 (東京大学大学院 工学系研究科 准教授)

(社) 日本医業経営コンサルタント協会「医業経営コンサルタント」継続研修：4.5時間(予定)

建築CPD(継続能力/職能開発)情報提供制度認定プログラム

※「高齢者施設の計画」「障害者施設の計画」は2023年分の再配信となります。

*敬称略、タイトル・講師は変更されることがあります

主 催 一般社団法人 日本医療福祉建築協会



第 17回 認定セミナーと検定試験のご案内 医療機器の安全に役立つMDIC

製造販売業者と医療スタッフのための 2024 年度 e ラーニング

(Medical Device Information Communicator : 医療機器情報コミュニケーター)

MDIC 認定セミナー

認定制度と認定セミナー

医療機器の安全使用と品質向上・進化を目指して、製造販売業者と医療機器の利用者との間で機器に関する正確な情報伝達を担う方を認定する制度です。医療機器の技術情報や適正使用に必要な知識とコミュニケーション力を有し、ヒヤリ・ハット、不具合情報等の医療機器に関する安全性情報の収集と提供を行うに十分な資質を有する方として学会が認定しています。MDIC の認定を受けるには認定セミナーの受講が必須です。



MDIC 認定制度
詳細はこちら

受講対象者は「医療機器に関わる全ての方」とし、以下の通りです。

- ・製造販売業者等で医療機器の開発・製造・販売・保守・使用・評価のいずれかに関わっている方
- ・医療機関での医療機器利用者（医師、看護師、臨床工学技士など）、医療安全管理者、医療機器・資材・設備など調達管理関連事務スタッフ
- ・教育・研究機関の教職員・学生

などで実務経験は問いません。

第 17 回認定セミナー概要

セミナー形式：eラーニング
申込期間：7/1(月)～9/2(月)
受講期間：

9/13(金)～11/15(金)

受講科目 医療概論

1. 医学・医療の役割とあゆみ
2. 医療を取り巻く環境
3. 社会保障と医療
4. 医療保険制度と介護保険制度
5. 病院における診療体系と業務の機能分担
6. 医療倫理とEBM
7. 医療安全管理
8. 医療機器と医薬品～医療を支える技術～
9. 関係法令

臨床医学

1. 人体の基本構造
2. 疾患概論
3. 診断学
4. 治療学
5. 医療機器と感染管理・安全管理
6. 臓器と疾患

臨床工学

1. 医療機器の安全基準
2. 医療機器の保守点検
3. 生体計測機器の原理・取り扱い上の注意と保守点検
4. 治療機器の原理・取り扱い上の注意と保守点検
5. 病院設備

医療情報

1. コンピュータの基礎
2. 情報セキュリティの基礎
3. 医療情報の特殊性と医療情報システム
4. 診療録とその他の諸記録
5. 病院情報システム
6. 医療情報の標準化

MDIC 認定セミナー受講方法

MDIC 認定セミナーは「医療概論」、「臨床医学」、「臨床工学」、「医療情報」の4科目で構成されており、医療現場において機器に関する業務を行う際に是非知っておくべき内容が網羅されています。

受講方法

受講料を振込後、学会ホームページの専用フォームからお申込ください。受付後、申込者個人のメールアドレス宛に「配信ページ URL」と「ログイン ID・パスワード」をお知らせしますので、「配信ページ URL」から受講してください。

- ・1 単元 10～20 分と短時間なのでスキマ時間に受講できます。
- ・受講期間内であれば何度でも受講可能です。
- ・全ての単元を受講しなければなりません。順番は自由です。

受講料振込

受講料：22,000 円 (テキスト代込)

以下のいずれかにお振込みください。

振込先口座

一般社団法人日本医療機器学会 MDIC 認定委員会

- ・ ゆうちょ銀行 00180-4-429165
- ・ みずほ銀行 本郷支店 普通 2722692

※受講料は理由にかかわらず返金しません。
※振込票(控)を画像ファイルとして保存し、受講申込フォームから送信してください。

受講申込

「学会 HP」⇒「認定制度」⇒「MDIC 認定」⇒「第 17 回認定セミナーのご案内」

https://www.jsmi.gr.jp/license/mdic/dai17kai_ninteiseminar

※郵送および FAX では受付けていません。
※企業で一括申込をご希望の場合はメールでご連絡ください。✉ mdic_rev@jsmi.gr.jp



MDIC 検定試験

MDIC 検定試験について

検定試験はオンライン試験または会場試験のいずれかを選択していただきます。検定試験の受験料振込、受験申込方法等の詳細はセミナー受講者に**別途案内を送付します**ので、送付された案内をご確認ください。

試験科目

医療概論、臨床医学、臨床工学、医療情報

出題範囲

認定セミナーのテキストと講義内容

eラーニングの再受講

2024年12月16日(月)から2025年1月11日(土)まで知識整理のための再受講が可能です。

解答方式

5者択一式・各科目50分間の予定

合否判定

4科目全ての試験で合格点を取ること
で「合格」となります。

・合否結果は受験者本人に通知します。

★**受験要綱が守れていない場合は採点の対象とならず不合格となります。**

※注意事項

不合格の科目は、翌年より2年間に限りその科目のみの再受講が可能です。ただし、翌年は不合格科目の認定セミナー受講が必須です。

翌々年は不合格科目のみ認定セミナーを無料で受講できます。

検定試験概要

開催方法

オンラインまたは会場試験

※試験会場は未定

受験資格

認定セミナーを受講期間内に
全て受講完了していること

検定試験日

2025年

1月12日(日)

MDIC 認定

MDIC 認定について

MDIC 認定証の交付

検定試験合格者には合格通知を送付します。指定する期日までに認定料の振込とMDIC認定の申請をしてください。申請に基づき、日本医療機器学会が認定証を交付します。



MDIC 認定の有効期間

認定期間は初回のみ認定日から5年6ヵ月間です。認定期間内に更新ポイントを60ポイント以上取得し更新することで5年間認定期間が延長されます。

医療機器に関する最新の知識を習得するために、日本医療機器学会や後援団体が開催する学術大会・講習会などへの参加・発表を行うことで、更新ポイントが付与されます。



ポイント取得基準
はこちら

MDIC 後援団体

(2024年5月現在。敬称略、順不同)

一般社団法人大阪医療機器協会
日本医学会
一般社団法人日本病院会
一般社団法人電子情報技術産業協会
一般社団法人日本医療機器販売業協会
公益社団法人日本医師会
一般社団法人日本医療機器工業会
一般社団法人日本分析機器工業会
一般社団法人日本医療機器産業連合会
一般社団法人日本医療福祉建築協会
一般社団法人日本医療福祉設備協会

商工組合日本医療機器協会
一般社団法人日本不整脈心電学会
一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会
一般社団法人日本衛生材料工業連合会
公益社団法人日本臨床工学技士会
一般社団法人日本手術医学会
公益社団法人全日本病院協会
公益社団法人日本麻酔科学会
公益財団法人医療機器センター
公益社団法人日本看護協会

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会
一般社団法人日本病院薬剤師会
公益社団法人日本整形外科学会
公益社団法人空気調和・衛生工学会
一般社団法人日本補聴器工業会
公益社団法人日本診療放射線技師会
一般社団法人日本臨床工学技士教育施設協議会
一般社団法人日本医療機器テクノロジー協会
公益社団法人日本生体医工学会